

東北数学教育学会年報 30号発刊を記念して

秋田県算数・数学教育研究会長

秋田大学 湊 三郎

私事にわたりますが、東北数学教育学会の発足の趣意書拝見したのは、当時勤務していた秋田工業高等専門学校の研究室においてでありました。正直なところ、数学教育の研究に本格的に取り組むつもりはその時は無く、むしろ数学に関わるつもりでおりました。凡そ二年後、秋田大学教育学部に勤務することになり、本当にやりたかったことが数学教育研究であることに自分で気づいたのでした。そのころ、当時山形大学に居られた松岡元久、竹内芳男両先生から暖かく、かつ強力なお誘いを受け、平野智治先生の肝いりと福島大学の紺野正平先生の努力で設立に至った東北数学教育基礎的研究会とほぼ同時に加入しました。

東北数学教育基礎的研究会、後の東北・北陸数学教育基礎的研究会、では、かなり勝手ながら創造的な活動を行い、東北数学教育学会では算数・数学教育研究に精通された先輩の眼力に恐縮しながら過ごしてきたように思います。それでも当時の若手常連の三塚正臣先生(当時、一関高専)と佐伯卓也先生(当時、岩手大学)と、算数・数学教育の研究に関し止まるところを知らぬ程の話し合いをしたものでした。橋本新太郎先生(当時、弘前大学、故人)にも格別なお世話になりました。なお、東北数学教育学会年報は第1号からもっております。

東北数学教育学会は東北各県にある算数・数学関係者が集まる研究会とは大分おもむきを異にするものですが会員は重なっており、それぞれの立場から東北地域の算数・数学教育の発展を願い、それに向かって努力していることに変わりありません。東北数学教育学会の益々の発展をお祈りします。

ご存じの通り、この夏には第81回全国算数・数学教育研究(秋田)大会が秋田市を会場に8月2日から4日午前まで開催されます。講習会は7月30日の午後からです。この大会は、社団法人日本数学教育学会と秋田県算数・数学教育研究会との主催、東北六県数学教育研究会連絡会等との共催で開催するものです。

東北数学教育学会の会員の方々には様々な面でご協力を頂いてまいりました。今後ともよろしくお願い申し上げます。研究仲間など多数を連れて秋田においてになることを期待しております。